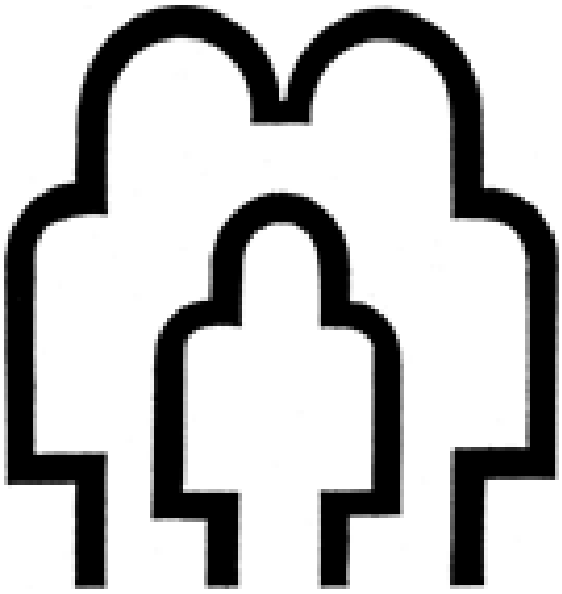
Annual Report 2014

2014 年度 年報



（公財）岐阜県国際交流センター

Gifu International Center

目　　次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

１　公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要・・・・・・・・・・・・・ 2

２　平成２６年度事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

３　平成２７年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

４　資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

は　じ　め　に

公益財団法人岐阜県国際交流センターは、地域の国際交流活動を推進する中核的組織として平成元年３月に財団法人として設立されました。平成２４年４月からは国の公益法人制度改革に伴い公益財団法人へと移行しました。

岐阜県が２４年３月に改定した「岐阜県多文化共生推進基本方針」においても、外国籍県民の自立の支援のため、当センターは引き続き、行政と民間団体との連携の仕組みづくりやモデル事業の広域的な普及などの役割を果たすことと位置づけられています。

岐阜県においては平成２６年１２月末の外国人住民数が４３，３７５人と県人口の２．１パーセントを占めています。県内外国人住民数は平成２０年１１月の５７，６５６人をピークに減少しているものの、本県における国際化の状況は変化してきており、県内で生まれ育つ外国人青少年が増加しています。雇用環境が厳しい中でも、地域に愛着を持ち、定住・永住を希望する外国人が増加し、従来とは異なる多文化共生を軸にした地域社会づくりが求められています。

このような認識のもと、当センターは多文化共生の地域づくり、地域の国際化推進のための環境づくり、ボランティア・民間団体の活動促進という３つの柱立てで事業を展開しております。

平成２６年度においては、従来の国際交流・国際協力事業の充実を図るとともに、外国人児童の就学指導、外国人生徒への進路指導等をはじめとした外国籍児童生徒への支援のほか、在住外国人からの多様な相談への対応や、医療通訳ボランティア斡旋事業を関係機関と協力して行うなど、安心して暮らせる多文化共生社会の構築のための事業を積極的に進めました。また、行政・市町村国際交流協会・NPO・地域住民とのネットワーク強化及びその活動支援、ボランティアに対する研修、民間団体実施事業への助成を通じた活動の活性化を促しました。

今後も時代の要請に応えられるよう事業を展開する所存でおりますので、引き続き当センターに一層の御理解､御協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに、当センターの平成２６年度の事業をまとめた年報を作成いたしました。皆様のお役に立てば幸いに存じます。ボランティア、賛助会員の方々を始め多くの県民の皆様の多大な御支援にお礼を申し上げます。

平成２７年７月

公益財団法人岐阜県国際交流センター
理事長　　森脇　久隆

１　公益財団法人岐阜県国際交流センターの概要

１　設立の趣旨

岐阜県では、従来の国レベルの国際交流から、県、市町村、住民等のいわゆる草の根レベルの国際交流への進展に対応するため、昭和６２年３月に中・長期的な国際交流のあり方を定めた「国際交流基本計画」を策定し、国際交流事業を積極的に実施してきた。また、昭和６３年には、「ぎふ中部未来博」を開催し、イベントによる国際交流を実施した。

今後、岐阜県の国際化をさらに進め、「世界のふれあい広場ＧＩＦＵ」を実現するためには、県・市町村、民間団体などが有機的に連携し、各種国際交流施策を強力に推進する必要がある。

このような認識のもとに、県民全体の国際交流活動を活発化させるため、地域の国際交流活動を支援する中核的組織として、財団法人岐阜県国際交流センターが設立された。

２　定款に定める目的

この法人は、地域に根ざした国際交流拠点として、岐阜県の豊かな自然環境、歴史、文化、その他の資源をいかした国際交流活動を通じて、多文化共生社会の実現を図るとともに、諸外国との相互理解と友好親善に寄与することを目的とする。

３　定款に定める事業内容

（１）　多文化共生の地域づくりに関する事業
（２）　国際交流に関する事業
（３）　国際協力に関する事業
（４）　その他この法人の目的を達成するために必要な事業

４　設立年月日

平成元年３月３１日

５　センターの歩み

昭和６１年　２月	「岐阜県国際交流基本の計画（骨子）」の策定
昭和６２年　３月	「岐阜県国際交流基本計画」の策定
昭和６２年１０月	「水と緑の国際交流基金」の設置
昭和６３年１０月	岐阜県が、国際交流センターの平成元年３月設立、同センターへの「水と緑の国際交流基金」の引継について決定
平成　元年　３月３１日	財団法人岐阜県国際交流センター設立（知事認可）
平成　元年　４月	センター業務開始
平成　２年　１月１３日	自治省より「地域国際化協会」に認定される
平成　６年　８月　１日	自治省より「特定公益増進法人」に認定される
平成１０年１２月　１日	インターナショナルセンター・ギザンをホテル グランヴェール岐山５階に開設
平成１３年　５月　１日	インターナショナルセンター・ギザンを５階から２階に拡充移設
平成１５年１２月　１日	インターナショナルセンター・ギザンを２階から３階に移設
平成１９年　３月１８日	インターナショナルセンター・ギザンを閉鎖
平成２２年　３月３１日	「ひだみの国際交流・多文化共生推進基金」の取崩、岐阜県へ寄附
平成２３年１０月３１日	岐阜中日ビル２階に移転
平成２４年　４月　１日	公益財団法人に移行

６　所在地

岐阜市柳ケ瀬通１－１２　岐阜中日ビル２階

７　所管官庁

岐阜県環境生活部環境生活政策課

８　基本財産および積立金

基本財産　　５，０００，０００円

（平成２７年３月３１日現在）

９　組織（平成27年7月1日現在）

（1）　役　員　等

理事長	森　脇　久　隆	岐阜大学長
専務理事	古　田　常　道	常勤
評議員	市　来　恭　子	岐阜県国際交流団体協議会事務局長
	市　原　慶　子	女性企業家グループＷＩＮＧ代表
	桑　田　博　之	全国農業協同組合連合会岐阜県本部長
	柴　田　英　文	(社)岐阜県観光連盟常務理事兼事務局長
	辻　　正	岐阜県中小企業団体中央会長
	平　井　花　画	岐阜県ユネスコ協会長
	堀　　幹　夫	岐阜女子大学名誉学長
	丸　山　和　美	ﾈｯﾄﾜｰｸ大学ｺﾝｿｰｼｱﾑ多文化共生・留学生部会長（朝日大学留学生別科長）
	山　田　實　紘	岐阜県国際交流推進有識者会議委員（社会医療法人厚生会理事長）
理　事	森　脇　久　隆	岐阜大学長
	古　田　常　道	常勤
	飯　塚　保　江	岐阜日仏協会長
	川　瀬　充　弘	学校法人ＨＩＲＯ学園理事長
	篠　田　薫	岐阜県芸術文化会議副会長
	下　屋　浩　実	岐阜県私立中学高等学校協会長
	鈴　木　禮　子	岐阜県チェコ友好協会長
	中　村　裕	ＮＰＯ法人可児市国際交流協会顧問
	渡　邉　久　登	美濃加茂市市民協働部部長
監　事	中　島　基　泰	ＳＵＮ経営税理士法人副所長
	山　田　英　治	岐阜県商工会議所連合会専務理事

（2）　事　務　局

事務局長（専務理事兼務）

職　　員　１１人

（うち県派遣３人　国際交流員３人　地域国際化推進員３人　在住外国人支援相談員　２名）

２　平成２６年度　事業報告

（平成２６年４月１日から平成２７年３月３１日まで））

当センターは、地域に根ざした国際交流拠点として、本県における多文化共生、国際交流、国際協力を推進するため、次の事業を実施した。

１　多文化共生の地域づくり

（１）　在住外国人支援事業

①　外国籍児童生徒支援事業

ア　就学前事前準備指導事業

（特非）可児市国際交流協会に委託し、外国にルーツを持つ就学前の児童に対する就学前事前準備指導教室事業（プレスクール）を実施した。

・日　時：平成２６年１０月１日（水）～平成２７年３月３１日（火）
・場　所：サンパレス可児、可児市多文化共生センターフレビア、可児ミッション（可児市）
・対象者：外国にルーツを持つ就学前の未就園児･在園児
・内　容：［就学前の未就園児対象］
就学前事前準備指導教室の開催（１０月～３月　１４０日）
・学校での生活に必要な知識、通うための準備指導
・先生とのコミュニケーションに必要な日本語指導、日本語習得及び家庭でのコミュニケーションのための母語指導
・保護者に対する指導
［就学前の在園児対象］
就学前事前準備指導教室の開催（１０月～３月　５１日）
・学校での生活に必要な知識、通うための準備指導
・先生とのコミュニケーションに必要な日本語指導

イ　ブラジル人学校児童・生徒進路支援事業

ブラジル人学校に通う生徒が、日本に定住する際に安定した生活が営めるように、自分の将来に対して明確なキャリアビジョンを描くための進路支援事業を実施した。

・時　期：平成２７年１月１５日（木）　９：２０～１５：００
平成２７年１月１６日（金）　９：２０～１２：１５
・場　所：学校法人ＨＩＲＯ学園（大垣市）
・参加者：１５日２１名（高校１年生、３年生）、１６日２０名（高校１年生、３年生）
・内　容：１日目（１月１５日）
・ドリームマップを使用した進路指導
・ブラジルにルーツを持ち岐阜県で活躍する人物などの体験談
２日目（１月１６日）
・ビジネスマナー講習

ウ　外国籍青少年に対するキャリア支援教育事業

県立高校に在籍する外国籍生徒を対象に、ＦＣ岐阜の運営等に携わる様々な仕事を紹介し、幅広い職業の選択肢を伝え、将来を描く機会を提供するキャリア教育支援事業を県と協働して開催した。

・日　時：平成２６年８月２７日（水）１０：００～１６：３０
・場　所：各務原スポーツ広場（各務原市）、長良川スポーツプラザ（岐阜市）
・参加者：大垣工業高等学校生徒、加茂高等学校生徒、東濃高等学校生徒　１８名
・内　容：午前　ＦＣ岐阜選手らの練習見学
午後　講話「ＦＣ岐阜を支える仕事について」
(株)岐阜フットボールクラブ
企画広報担当課長　林　幹広　氏
ＦＣ岐阜のクラブスタッフ・選手より生徒に向けてメッセージ
(株)岐阜フットボールクラブ
フィジカルトレーナー　アルタイール　氏
選手　三都主　アレクサンドロ　氏
強化部主務　吉川　真行 氏

②　外国人コミュニティ活動サポート事業

ア　岐阜県外国人コミュニティ支援人材スキルアップ研修

在住外国人自らが問題解決できるよう導き支援していくため、外国人相談対応者を対象に、相談対応の心構えや複雑な相談事例に対する正しい対応方法、及びメンタルセルフケアをテーマとした研修を県と協働して実施した。

・時　期：［第１回］平成２６年１１月２５日（火）１３：３０～１６：５０
［第２回］平成２７年２月２４日（火）１３：３０～１６：３０

・場　所：ふれあい福寿会館（岐阜市）
・対象者：県、市町村、教育関係、ＮＰＯ等の外国人相談対応者
・内　容：［第１回］相談対応のコツ、複雑な相談事例のケーススタディ
　　［第２回］相談対応者のセルフケア
・講　師：［第１回］外国人ヘルプライン東海　後藤　美樹　氏
　　［第２回］兵庫県こころのケアセンター研究主幹　大澤　智子　氏（臨床心理士）
・参加者：第１回２５名、第２回２０名

③　東海北陸ブロックでの災害時の外国人支援ネットワークの推進

ア　災害時における外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会（平成２６年９月１８日（木）１４：００～１５：００、ホテルグランヴェール岐山）に参加（本年度会長協会により当センター主催）

東日本大震災での（公財）福島県国際交流協会における外国人住民への支援活動について、同協会斎藤隆専務理事による、多言語情報の発信や相談対応、外国出身住民へのアンケート結果等の講演から、災害時に地域国際化協会が直面する状況や外国人住民に対する防災啓発の重要性について学び、同ブロックにおける連携や今年度の災害予防対策支援研修会に役立てることとした。

イ　災害予防対策支援研修会

大規模災害発生時に、東海北陸ブロック内の地域国際化協会において、支援を円滑に実施できる体制を構築するため、緊急連絡及び災害情報の多言語翻訳に関するシミュレーション訓練及び同訓練を実施してのふり返り・意見交換に参加した。

・緊急連絡・多言語翻訳シミュレーション
　・日　時：平成２６年１１月５日（水）９：００～１６：３０
　・内　容：電話及びメールで東海北陸ブロック内地域国際化協会間の災害シミュレーションに参加
・緊急連絡・多言語翻訳シミュレーションふり返り・意見交換
　・日　時：平成２６年１１月１９日（水）１４：００～１６：００
　・場　所：名古屋国際センター（名古屋市）

（２）　外国人相談員配置事業

県や市町村の行政窓口等に日本語、ポルトガル語、タガログ語が堪能な外国人相談員を派遣して、在住外国人からの問い合わせ、相談に対して相談対応、通訳対応を行った。また、多様な相談に対応するため、専門家と連携して「行政書士相談」、在住ブラジル人向けの「こころの相談」を実施した。

・相談員の派遣
　相談員：ポルトガル語１名、タガログ語１名
　派遣先（人数及び日数）：
　＜定期的な派遣＞
　　県自動車税事務所（ポルトガル語、週１回　４～８月）、県住宅供給公社（ポルトガル語　週１日）、県女性相談センター（タガログ語、月１日）
　＜随時の派遣＞
　　中央子ども相談センター
・行政書士相談
　実施日　：９日間（水・日曜日）
　相談件数：１３件
・こころの相談
　・専門家：アルベス・ヴィヴィカン・ベルナル氏（カウンセリング、精神療法を専門）
　・実施日数：１２日間（日曜日）
　・相談件数：５９件
　・相談内容：精神の健康　３５件、親子関係　２件、夫婦関係　５件、その他の人間関係　３件、学校での問題　１件、子供の（発達）教育　５件、その他　８件

（３）　日本語指導者育成支援事業

①　日本語支援ボランティア研修事業

日本語ボランティア初心者の方を対象に、日本語の教え方の基礎や日本語を教えるための日本語文法の基礎知識を学ぶ研修を土岐市国際交流協会と協力して実施した。

・日　時：平成２６年１０月１２日（日）　１０：３０～１６：００
・場　所：セラトピア土岐　第１・２会議室（土岐市）
・参加者：日本語教室でボランティアとして活動している方、日本語教育に興味をお持ちの方　２３名
・講　師：岐阜大学教育学部シニア教授　山田　敏弘氏
・内　容：音声、国語教育の文法と日本語教育の文法との違い、助詞の意味、類似した格助詞の説明、文法の教え方・学び方、やさしい日本語について

②　日本語教育連絡会議・研修会の開催

地域における日本語教室を活性化し、関係者・団体と協力して県内全域の日本語教育の振興を図るため、（特非）可児市国際交流協会と協力して、「地域日本語教育全体会議」を実施した。

・期　日:平成２７年２月８日（日）
・会　場:可児市多文化共生センターフレビア（可児市）
・参加者:日本語教室主催者、日本語支援ボランティア、日本語教室を開催する市町村・国際交流協会の事務局スタッフ、日本語教育関係機関　２８名
・内　容:第１部　日本語教室取組発表　１２：００～１３：００
発表者：日本語ボランティア「鮎の会」藤田いづみ氏
高山市異文化ふれあい講座「日本語講座」糸田恵子氏
（特活）市民協働支援機構　坂　忠男氏
第２部　会議「地域日本語教室の役割について」１５：００～１６：３０
講師：東海日本語ネットワーク副代表　米勢　治子氏

２　地域の国際化推進のための環境づくり

（１）情報サービス事業

①　交流サロン運営事業

当センター内に「交流サロン」を設置。各種国際関係資料（刊行物、辞書・辞典、雑誌、日本語教材、国旗等）の整備や無償貸出、研修室を国際交流団体、ＮＰＯ、ボランティア団体等の非営利活動のために無償貸出、語学講座や各国の文化を紹介するサロンの開催、在住外国人の日常生活に係る多様な相談に対応した。

平成26年度の交流サロンの利用状況は　３，３００名（内外国人　５８４名）

ア　日本語教材・図書の閲覧、メッセージボードの運営、研修室・国旗の貸出
・研修室の貸出　７５件
・国旗の貸出　　２４件、延べ　８８ケ国（普通旗・卓上旗）

イ　外国人の日常生活に関する相談窓口
・対応言語：英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語
・相談者（在住外国人）、県・市町村等の行政窓口、当センター（通訳）の３者同時通話電話による相談も実施した。

ウ　国際交流・国際協力・国際理解教育に関する相談窓口

エ　外国語講座及び文化サロンの開催
・外国語講座（英語、ポルトガル語、中国語、仏語、韓国語）
１５講座　受講者数　１，３１１名
・文化サロン　７講座　参加者数　１４２名
・講師：当センター及び県国際戦略推進課の国際交流員等

オ　県・市町村の行政情報等の翻訳、通訳
通訳派遣：６件、翻訳：１０２件

カ　国際交流員等の学校、市町村国際交流協会等への派遣
学校派遣　９校延べ２４名　その他の派遣　１７件延べ２２名

②　情報提供事業

センターや国際交流団体等の取り組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、在住外国人が母語で生活に役立つ行政関連情報等を多言語で提供するため、刊行物の発行やホームページを通じて発信した。

ア　「世界はひとつ」の発行
・国際交流団体等の活動情報、外国人への生活情報、国際交流イベント情報などを掲載した多言語による情報誌
・発行部数：年３回　６、１０、１月号　２５００部
（ホームページにも掲載）
・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語
・配 布 先：県、市町村、国際交流団体、ＮＰＯ、大学、外国人学校、病院、商工会議所、賛助会員等

イ　「国際交流の窓」の発行
・県、市町村の担当窓口や実施事業、国際交流団体の連絡先や活動内容、姉妹提携の状況等を掲載
・発行部数：年１回　１４０部（ホームページにも掲載）
・配 布 先：県、市町村、国際交流団体、賛助会員等

ウ　ホームページの運営
・イベント情報等の各種事業案内、国際交流団体の取り組み等紹介
・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語

エ　国際交流ネットワークの構築
・県内国際交流・協力団体、個人、学校、市町村担当職員などで構成する国際交流・協力ネットワークメーリングリストを運営。

・加入者（団体）数：２０団体１１７名（平成２７年３月３１日現在）

（２）国際交流・協力事業

①　ハローギフ・ハローワールド開催事業

本県に活動拠点を置く国際交流・協力団体、外国支援団体等の活動を広く県民に紹介し、また、各国文化を様々なパフォーマンス、体験等を通じて紹介し、県民と外国人の交流を深めるイベントを岐阜県国際交流団体協議会に委託し、開催した。

・開催日　　：平成２６年7月２０日（日）１０：００～１６：００
・場所　　：ＣＩＮＥＸ　ＨＡＬＬ、高島屋前わくわくステージ（岐阜市）
・入場料　　：無料
・関係団体数：３０団体
・参加者　　：約3，０００名

（３）外国人留学生奨学金支給事業

県内の大学等で学ぶ外国人留学生の中で、経済的に厳しい状況にある私費留学生に奨学金を支給した。また留学生による座談会を行った。

・推薦者数　　：６大学６名
・交付決定者数：５大学５名（内訳：中国４名、韓国１名）
・支給額　　：３６万円（月３万円×１２月）／人）

＜座談会＞

・日時　：平成２７年１月２３日（金）１３：３０～１５：００
・参加者：奨学金受給者５名
・テーマ：「いま、求められる国際交流とは」

３ ボランティア・民間団体の活動促進

（１）　ボランティア活動促進事業

①　ボランティア登録制度の運営

語学等のボランティア募集・登録・紹介を行うとともに、ボランティアを対象とした研修会等を通じてボランティアの育成を図った。

登録数（平成２７年３月３１日現在）及び紹介状況
ボランティア登録者数：１５８名

・語学　　登録　７３名、紹介１件（１名）
・日本語支援　　登録　６４名、紹介０件（０名）
・ホームステイ　　登録　３１名、紹介２件（２名）
・災害時語学サポーター　登録　４６名、派遣０名

②　医療通訳ボランティア斡旋事業及び医療通訳ボランティア研修

医療機関からの医療通訳依頼業務に対し、登録ボランティアの医療通訳業務斡旋を行った。

○・利用医療機関：１２病院
・依頼：３１４件
・派遣：２８４件

○登録証交付・説明会
・開催日：平成２６年7月２３日（水）　１４：１５～１５：００
・対　象：ポルトガル語、中国語の今年度新規登録者
（登録者数２７名：ポルトガル語１０名、中国語１２名、タガログ語５名）
・内　容：本事業での斡旋の流れと注意事項等

○医療通訳ボランティア研修

岐阜大学医学部の協力を得て、上記斡旋事業の登録医療通訳ボランティアのスキルアップと医療通訳に関心のある方の発掘及び育成を図り、地域において外国人住民が安心して医療機関を受診することができる体制を整備するために、医療通訳者としての心構えや医療に関する基礎知識、通訳技術等について学ぶ研修を実施した。

・日　時：平成２６年１２月６日（土）、７日（日）１０：００～１７：００
・場　所：岐阜大学医学部　教育・福利棟４階（岐阜市）
・参加者：６日４０名（ポルトガル語１４名、タガログ語９名、中国語１７名）
７日４２名（ポルトガル語１５名、タガログ語９名、中国語１８名）
・内　容：医療通訳者としての心構え・倫理、医療機関の仕組み、医療に関する知識（産婦人科、感染症対策）バーチャル病院での実習を通じて学ぶ医療の日本語、通訳技術、言語別ロールプレイ実習
・共　催：岐阜大学医学部

③　災害時語学ボランティア研修

災害が発生した際、外国籍住民に対して的確な情報提供や支援ができるよう、災害知識を有する語学ボランティアの発掘・育成を図るため、（特非）可児市国際交流協会と協力して、多言語支援センターの設置・運営訓練及び外国人住民を対象とした防災体験セミナ

ーを実施した。
・日　時：平成２７年２月１５日（日）１０：００～１７：００
・場　所：可児市多文化共生センターフレビア（可児市）
・参加者：サポーター研修２６名、防災体験セミナー１９名（外国籍住民等）
・内　容：多言語支援センターの設置・運営訓練と避難所巡回訓練
外国人避難所体験ワークショップ

（２）　助成事業

国際交流・多文化共生推進助成事業

県内の国際交流団体等が実施する国際交流・協力並びに多文化共生社会づくり事業に対し助成した。

・助成件数：　　２９件
・交 付 額：　１０，４６３千円
※助成対象事業は別表１のとおり

＊助成件数と助成金額の推移

年　　度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
助成件数	41件	34件	31件	24件	22件	19件	17件	14件	28件	29件	29件
助成金額(千円)	15,222	12,093	12,743	12,867	11,795	14,681	6,294	5,429	9,738	10,132	10,463

■賛助会員数　加入者（団体）数：個人９３名　９３口、５０団体　８７口
（平成２７年３月３１日現在）

４　理事会・評議員会の開催

財団運営に関する事業計画・報告、収支予算・決算その他重要な事項についての審議、決定を受けるための理事会を７回、評議員会を３回開催した。

①理事会の開催状況
第１回理事会：平成２６年４月１日（決議の省略）
提案事項　　代表理事（理事長）１名選定の件
第２回理事会：平成２６年６月９日
第１号議案　平成２５年度事業報告の承認の件
第２号議案　平成２５年度計算書類等（貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、及び財産目録）の承認の件
第３号議案　平成２６年度定時評議員会の招集の決定の件
報告事項１　平成２６年度職務執行状況について
報告事項２　平成２６年度国際交流・多文化共生推進事業助成金（１次募集）の審査結果について
第３回理事会：平成２６年６月２４日（決議の省略）
提案事項１　代表理事（理事長）１名選定の件
提案事項２　業務執行理事（専務理事）１名選定の件
第４回理事会：平成２６年１２月１９日（決議の省略）
提案事項　　国際交流・多文化共生推進事業助成金交付規程の一部改正の件
第５回理事会：平成２７年１月１３日（決議の省略）
提案事項　　評議員会の招集の件
第６回理事会：平成２７年３月４日
第１号議案　平成２７年度事業計画及び収支予算等の承認について
第２号議案　中国人留学生奨学特別基金の取り崩しについて
第３号議案　外国籍の子どもの進学支援事業助成金交付規程の制定について
第４号議案　臨時評議員会の招集について
報告事項１　理事長・専務理事の職務の執行の状況の報告
第７回理事会：平成２７年３月１８日（決議の省略）
提案事項　　評議員会の招集の件

②評議員会の開催状況
第１回評議員会：平成２６年６月２４日
第１号議案　平成２５年度度計算書類等の承認の件
第２号議案　理事９名の任期満了に伴う理事選任の件
第３号議案　監事２名の任期満了に伴う監事選任の件
報告事項１　平成２５年度事業報告について
第２回評議員会：平成２７年１月２３日（決議の省略）
提案事項　　役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正の件
第３回評議員会：平成２７年３月２５日（決議の省略）
提案事項　　役員等の報酬等及び費用に関する規程の一部改正の件
給与等規程の一部改正の件
報告事項　　平成２７年度事業計画、収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

５　資金調達等の状況

（１）資金調達　なし
（２）設備投資　なし

平成２６年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。

平成26年度「国際交流・多文化共生推進事業」助成金事業一覧表（全期分）

【単位：円】

	No	事業名	主催者	事業費	交付決定額	最終助成額	備　考
第1次募集	1	岐阜市・杭州市友好都市提携35周年記念 2014日中韓友好都市青少年卓球友好交流大会	岐阜市卓球協会	4,099,970	500,000	343,000	
	2	2014香港城市大学専上学院・岐阜県「日本語研修・日本文化体験」事業	岐阜県世界青年友の会	2,436,703	500,000	500,000	
	3	フィールドワーク＆セミナー 「川の国際交流～清流の国ぎふの取り組みをネパールへ」	（特活）ムラのミライ	2,137,137	500,000	500,000	
	4	高校生と外国人との交流事業	日本語ひろば羽島市	0	22,000	0	※事業中止
	5	アフリカの子ども達に、愛の靴・文房具を	（特活）ぎふ・コートジボワール	1,621,913	500,000	500,000	
	6	Zarzuela y la mejor musica de España～ Del pasado al futuro ～ 過去から未来へ繋ぐ　サルスエルムとともに	日本スペイン交流SPプロジェクト　Sol de España	1,381,885	500,000	500,000	
	7	第4回「日韓交流強化事業」第4回全国高等学校アーチェリー競技ブロック対抗戦および合同強化合宿	（公財）全国高等学校体育連盟アーチェリー専門部	3,044,884	500,000	500,000	
	8	第32回　ネオ・ダール展	ネオ・ダール会	881,364	115,000	115,000	
	9	知ってもらいたい本当のカンボジア	（特活）ジンセン	501,575	225,000	200,000	
	10	日本の伝統的文化を携えての国際交流事業	（一財）方丈文庫	5,794,707	500,000	500,000	
	11	ｷﾞﾘｼｬ･ﾎﾞｽﾆｱﾍﾙﾂｪｺﾞﾋﾞﾅ等欧州5カ国における日本文化紹介と現地指導者育成事業	白鳳古式くみひも道	2,278,168	500,000	500,000	
	12	外国人学生ホームスティ事業	国際交流「MIZUHO」	141,532	152,000	67,000	
	13	I.C.M.スポーツ交流事業 （中国バレーボールチームとの交流事業）	I.C.M.GROUP	0	500,000	0	※事業中止
	14	第15回海外児童文化交流受入事業	大垣竹の子会	344,668	155,000	77,000	
	15	Japanese and French traditions in the art of forging	Japanese and French traditions in the art of forging 日本支部	975,198	491,000	487,000	
	16	第13回岐阜県内外国人留学生日本語弁論大会	岐阜地域留学生交流推進協議会	110,000	73,000	60,000	
	17	定住中国籍住民の生活支援	美濃加茂華友会	751,048	500,000	500,000	
	18	フェイスブックを利用した行政情報の外国語による提供	多文化共生サービス岐阜	792,000	500,000	500,000	
	19	異文化ふれあい講座「日本語講座」	飛騨高山国際協会	462,000	154,000	154,000	
	20	2014年度　あんしん・安全のための多言語情報提供事業	（特非）可児市国際交流協会	929,595	500,000	500,000	
	21	外国人市民のための日本語教室「入門コース2014」	（公財）大垣国際交流協会	393,269	261,000	261,000	
	22	日本語等学習支援教室「つばさ教室」事業	関市国際交流協会	605,655	449,000	374,000	
	23	からだで学ぶ漢字 ――日本語学習者のための身体表現ワークショップ――	多文化演劇ユニットMICHI	751,274	500,000	494,000	
	24	コミュニティサポートプロジェクト2014	（特活）市民協働支援機構	750,372	500,000	441,000	
	25	外国人児童放課後学習支援事業2014	可児ミッション	865,842	500,000	500,000	
	26	岐阜市における大阪・神戸フィリピン総領事館出張サービス	ASFIL岐阜	148,360	173,000	98,000	
	27	外国人のための日本語講座	（公財）岐阜市国際交流協会	1,580,512	500,000	500,000	
小　　計（A）				33,779,631	10,270,000	9,171,000	
第2次募集	1	柳ヶ瀬サンバカーニバル	柳ヶ瀬サンバカーニバル実行委員会	1,516,000	243,000	243,000	
	2	日中民間交流講演会開催事業	岐阜県日本中国友好協会	229,340	178,000	49,000	
	3	古川祭台湾交流展覧会　出展	（一社）飛騨市観光協会	5,313,363	500,000	500,000	
	4	祝・日仏文化協力90周年コルマール旅行博における岐阜県の魅力PR	岐阜日仏協会	6,513,158	500,000	500,000	
小　　計（B）				13,571,861	1,421,000	1,292,000	
合　　計（A）+（B）				47,351,492	11,691,000	10,463,000	

貸　借　対　照　表

平成27年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ資産の部			
1.流動資産			
現金預金	44,081,745	52,595,202	△ 8,513,457
未収金	10,192	12,440	△ 2,248
前払金	14,200	14,200	0
流動資産合計	44,106,137	52,621,842	△ 8,515,705
2.固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
在住外国人支援相談員配置事業実施資金	8,638,839	12,050,895	△ 3,412,056
中国人留学生奨学特別基金	3,620,000	4,700,000	△ 1,080,000
センター外国人留学生奨学基金	1,280,000	2,000,000	△ 720,000
国際交流・多文化共生推進事業基金	48,140,000	48,140,000	0
特定資産合計	61,678,839	66,890,895	△ 5,212,056
(3) その他固定資産			
什器備品	1,567,366	2,329,301	△ 761,935
無形固定資産	0	17,010	△ 17,010
敷金	871,000	871,000	0
その他固定資産合計	2,438,366	3,217,311	△ 778,945
固定資産合計	69,117,205	75,108,206	△ 5,991,001
資産合計	113,223,342	127,730,048	△ 14,506,706
Ⅱ負債の部			
1.流動負債			
未払金	5,138,000	7,281,459	△ 2,143,459
預り金	200,595	195,784	4,811
賞与引当金	945,128	876,315	68,813
流動負債合計	6,283,723	8,353,558	△ 2,069,835
負債合計	6,283,723	8,353,558	△ 2,069,835
Ⅲ正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	9,900,000	11,700,000	△ 1,800,000
指定正味財産合計	9,900,000	11,700,000	△ 1,800,000
（うち基本財産への充当額）	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(4,900,000)	(6,700,000)	(△ 1,800,000)
2.一般正味財産	97,039,619	107,676,490	△ 10,636,871
（うち特定資産への充当額）	(56,778,839)	(60,190,895)	(△ 3,412,056)
正味財産合計	106,939,619	119,376,490	△ 12,436,871
負債及び正味財産合計	113,223,342	127,730,048	△ 14,506,706

正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1)経常収益			
基本財産運用益	2,800	2,800	0
基本財産受取利息	2,800	2,800	0
特定資産運用益	56,624	19,050	37,574
中国人留学生奨学基金受取利息	1,175	1,743	△ 568
外国人留学生奨学金基金受取利息	703	952	△ 249
在住外国人支援相談員配置実施資金受取利息	3,879	2,500	1,379
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	50,867	13,855	37,012
受取会費	681,800	639,700	42,100
賛助会員受取会費	681,800	639,700	42,100
受取補助金等	41,945,955	42,671,813	△ 725,858
受取県補助金	41,865,955	40,744,700	1,121,255
受取助成金	80,000	1,927,113	△ 1,847,113
受取負担金	370,900	430,300	△ 59,400
受取参加者負担金	170,900	230,300	△ 59,400
受取国際協力推進事業負担金	150,000	150,000	0
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50,000	50,000	0
受取寄付金	1,800,000	1,800,000	0
受取寄付金	1,800,000	1,800,000	0
雑収益	58,411	37,096	21,315
情報機器利益収益	5,860	5,760	100
受取利息	9,051	31,336	△ 22,285
広告掲載収益	43,500	0	43,500
経常収益計	**44,916,490**	45,600,759	△ 684,269
(2)経常費用			
事業費	**47,924,568**	49,924,204	△ 1,999,636
非常勤専門職報酬	14,048,799	13,980,655	68,144
役員報酬	2,488,232	2,504,616	△ 16,384
職員手当	1,556,893	1,399,794	157,099
法定福利費	4,983,560	4,867,207	116,353
報償費	769,500	1,194,468	△ 424,968
費用弁償	108,336	285,310	△ 176,974
業務旅費	383,042	231,246	151,796
消耗品費	755,120	783,275	△ 28,155
対外交流費	0	14,690	△ 14,690
会議費	5,830	2,832	2,998
光熱水費	589,296	541,984	47,312
印刷製本費	725,267	1,049,428	△ 324,161
通信運搬費	647,411	751,583	△ 104,172
手数料	14,040	13,650	390
保険料	6,520	8,172	△ 1,652
委託料	3,761,199	5,233,542	△ 1,472,343
賃借料	3,547,615	3,911,068	△ 363,453
負担金	10,600	5,000	5,600
助成金	10,463,000	10,132,000	331,000
奨学金	1,800,000	1,800,000	0
賞与引当金繰入	649,304	623,937	25,367
公課費	1,400	1,400	0
減価償却費	609,604	588,347	21,257

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増減
管理費	**7,613,961**	6,660,773	953,188
非常勤専門職報酬	342,110	281,219	60,891
役員報酬	3,191,152	3,211,180	△ 20,028
職員手当	472,944	349,944	123,000
法定福利費	1,045,446	894,959	150,487
費用弁償	37,093	34,566	2,527
業務旅費	86,811	132,603	△ 45,792
消耗品費	81,162	77,055	4,107
会議費	13,766	13,026	740
光熱水費	143,652	118,159	25,493
印刷製本費	7,513	12,122	△ 4,609
通信運搬費	117,795	91,623	26,172
手数料	192,899	107,818	85,081
委託料	31,536	0	31,536
賃借料	812,149	742,500	69,649
消耗品什器備品費	362,880	0	362,880
負担金	224,320	189,900	34,420
公課費	400	10,700	△ 10,300
賞与引当金繰入	295,824	252,378	43,446
減価償却費	154,509	141,021	13,488
経常費用計	**55,538,529**	56,584,977	△ 1,046,448
評価損益等調整前当期経常増減額	**△ 10,622,039**	△ 10,984,218	362,179
評価損益等計	**0**	0	0
当期経常増減額	**△ 10,622,039**	△ 10,984,218	362,179
2．経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	**0**	0	0
(2)経常外費用			
過年度什器備品修正額	0	0	0
什器備品除却損	14,832	0	14,832
什器備品売却損	0	0	0
経常外費用計	**14,832**	0	14,832
当期経常外増減額	**△ 14,832**	0	△ 14,832
当期一般正味財産増減額	**△ 10,636,871**	△ 10,984,218	347,347
一般正味財産期首残高	**107,676,490**	**118,660,708**	△ 10,984,218
一般正味財産期末残高	**97,039,619**	107,676,490	△ 10,636,871
Ⅱ　指定正味財産増減の部			
受取補助金等	**0**	0	0
一般正味財産への振替額	**△ 1,800,000**	**△ 1,800,000**	0
当期指定正味財産増減額	**△ 1,800,000**	△ 1,800,000	0
指定正味財産期首残高	**11,700,000**	**13,500,000**	△ 1,800,000
指定正味財産期末残高	**9,900,000**	11,700,000	△ 1,800,000
Ⅲ　正味財産期末残高	**106,939,619**	119,376,490	△ 12,436,871

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

平成22年度会計から「公益法人会計基準」（平成20年4月11日　平成21年10月16日改正　内閣府公益認定等委員会）を採用している。

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

（2）棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし。

（3）固定資産の減価償却の方法

什器備品　・・・・　平成19年3月31日以前に取得したものについては旧定額法、平成19年4月1日以後に取得したものについては定額法によっている。
なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

ソフトウェア　・・・・　定額法によっている。
なお、減価償却の仕訳とそれに基づく勘定記入は、直接法で実施している。

（4）引当金の計上基準

賞与引当金　・・・・　次年度予算に計上した額を支給見込額として、当該事業年度に帰属する期間相当分を計上している。

（5）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式によって行っている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定 期 預 金	5,000,000	0	0	5,000,000
小　　計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
在住外国人支援相談員配置事業実施資金				
定期預金	12,050,895		3,412,056	8,638,839
中国人留学生奨学特別基金				
定 期 預 金	4,700,000	0	1,080,000	3,620,000
センター外国人留学生奨学基金				
定 期 預 金	2,000,000	0	720,000	1,280,000
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定期預金	48,140,000	0	0	48,140,000
小　　計	66,890,895	0	5,212,056	61,678,839
合　　計	71,890,895	0	5,212,056	66,678,839

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定 期 預 金	5,000,000		(5,000,000)	
小　　計	5,000,000		(5,000,000)	
特定資産				
在住外国人支援相談員配置事業実施資金				
定 期 預 金	8,638,839	(8,638,839)		
中国人留学生奨学基金				
定 期 預 金	3,620,000		(3,620,000)	
センター外国人留学生奨学基金				
定 期 預 金	1,280,000		(1,280,000)	
国際交流・多文化共生推進事業基金				
定 期 預 金	48,140,000	(48,140,000)		
小　　計	61,678,839	(56,778,839)	(4,900,000)	
合　　計	66,678,839	(56,778,839)	(9,900,000)	

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什 器 備 品	9,117,637	7,550,271	1,567,366
合　　計	9,117,637	7,550,271	1,567,366

無形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
PCA公益法人会計ソフトV10	113,400	113,400	0
合　　計	113,400	113,400	0

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残額

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
平成26年度岐阜県国際交流センター補助金	岐阜県	0	41,865,955	41,865,955	0	－
助成金						
地域国際化協会連絡協議会研修助成金	地域国際化協会連絡協議会	0	80,000	80,000	0	－
合　　計		0	41,945,955	41,945,955	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

内　　容	金　額
経常収益への振替額	
受取寄付金	1,800,000
受取県補助金	0
合　　計	1,800,000

9 関連当事者との取引の内容

該当なし。

10 重要な後発事象

該当なし。

11 その他

該当なし。

附属明細書

１ 基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載している。

２ 引当金の明細

（単位:円）

科　　目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	876,315	945,128	876,315		945,128

財　産　目　録

平成27年3月31日現在

（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
Ⅰ資産の部				
1.流動資産				
	現金預金			
	現金	つり銭	運転資金として	10,000
	決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所	運転資金として	4,599,094
	定期預金	三菱東京UFJ銀行岐阜支店	運転資金として	2,050,895
	定期預金	みずほ銀行岐阜支店	運転資金として	1,361,161
	決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所	歳入歳出外用	200,595
	決済用預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所	賛助会員用	0
	定期預金	大垣信用金庫県庁前支店	運転資金として	10,000,000
	定期預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所	運転資金として	5,000,000
	定期預金	大垣共立銀行県庁前支店	運転資金として	10,000,000
	定期預金	岐阜信用金庫本店営業部	運転資金として	10,000,000
	定期預金	ゆうちょ銀行岐阜県庁支店	運転資金として	860,000
	未収金	労働保険料		10,192
	前払金			14,200
	流動資産合計			44,106,137
2.固定資産				
(1)	基本財産			
	定期預金	十六銀行県民ふれあい会館出張所	公益目的保有財産	5,000,000
	基本財産合計			5,000,000
(2)	特定資産			
	在住外国人支援相談員配置事業実施資金	定期預金　みずほ銀行岐阜支店	特定費用準備資金であり、在住外国人支援相談員配置事業に充当している	8,638,839
	中国人留学生奨学特別基金	定期預金　三菱UFJ信託銀行岐阜支店	中国留学生の奨学金として寄附を受けた財産を積み立てている資産である	3,620,000
	センター外国人留学生奨学基金	定期預金　ゆうちょ銀行岐阜県庁支店	外国人留学生の奨学金として寄附を受けた財産を積み立てている資産である	1,280,000
	国際交流・多文化共生推進事業基金	定期預金　西濃信用金庫金華橋支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金　関信用金庫長森支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金　商工組合中央金庫岐阜支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金　岐阜商工信用組合本店営業部	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	5,000,000
		定期預金　ぎふ農業協同組合本店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	10,000,000
		定期預金　三菱UFJ信託銀行岐阜支店	公益目的保有財産であり、国際交流及び多文化共生を推進する事業に供している	3,140,000
	特定資産合計			61,678,839
(3)	その他固定資産			
	什器備品			1,567,366
	事務机、応接セット他	取得価額　9,117,637 円 償却累計額　7,550,271 円	公益目的事業86.2%及び管理業務13.8%に使用している。	
	無形固定資産			0
	公益法人会計ソフト	取得価額　113,400 円 償却累計額　113,400 円	管理業務に使用している。	
	敷金		公益目的事業81.2%及び管理業務18.8%に使用している。	871,000
	その他固定資産合計			2,438,366
	固定資産合計			69,117,205
	資　産　合　計			113,223,342
Ⅱ負債の部				
1.流動負債				
	未払金	国際交流・多文化共生推進基金助成金　他	公益目的事業に供する未払い分他	5,138,000
	預り金	社会保険料本人負担分　他	非常勤専門職等4名分他	200,595
	賞与引当金	賞与引当金	職員4名に対する賞与の支払いに備えたもの	945,128
	流動負債合計			6,283,723
	負　債　合　計			6,283,723
	正　味　財　産			106,939,619

３ 平成２７年度 事業計画

（平成２７年４月１日から平成２８年３月３１日まで）

Ⅰ　基本方針

平成24年4月に公益財団法人に移行し、県レベルの国際化を推進する地域国際化協会として、また、県の外郭団体として、公益法人の役割と責務を自覚し、県民、地域に信頼されるセンターとなる必要がある。

平成24年3月に岐阜県が改定した「岐阜県多文化共生推進基本方針」において、当センターは引き続き、外国籍県民の自立の支援のため、行政と民間団体との連携の仕組みづくりやモデル事業の広域的な普及などの役割を担うよう位置づけられている。

また、本県の国際化の方向も変化しつつある。県内で生まれ、育つ外国人青少年の数が増え、地域に愛着を持ち、定住・永住を希望する者が増加している。多文化共生の地域社会づくりの方向性も、その変化に呼応する柔軟性が求められている。

このような認識のもと、当センターは、本県の中核となる国際交流拠点として、県民の国際理解を増進するとともに、国際化推進のための環境づくりを行い、県民主体の多文化共生や国際交流・協力活動を促進し、文化や考え方の多様性が尊重され、安心して暮らせる多文化共生社会の構築のための事業を積極的に展開する。

なお、当センターの財政・運営環境は厳しい状況にあるため、経営基盤の充実と業務の効率化を図るとともに、様々な団体等との役割分担を再確認しつつ、連携・協働を一層深め、広域的、モデル的な事業を中心に効果的に進めることとする。

Ⅱ　重点目標

１　多文化共生の地域づくり

外国人コミュニティの問題解決能力の向上､外国籍児童生徒への教育支援等により、外国人の自立支援を進める。

２　地域の国際化推進のための環境づくり

行政、市町村国際交流協会、ＮＰＯ、ボランティア団体、地域住民とのネットワークを強化し、それぞれのニーズの把握に努めるとともに、情報発信や活動の場の提供等を通じての活動支援を行う。

また、岐阜県版多文化共生社会のあり方について広く県民と考える機会をつくるとともに、地域を担う人材育成も行う。

３　ボランティア・民間団体の活動促進

ボランティアの研修、民間団体の実施事業への助成等を通じて、県民や民間団体の主体的な取り組みを支援し、活動の活性化を図る。

４　経営基盤の整備

賛助会員の拡大、広告掲載等により経営基盤の強化を図る。

Ⅲ　事業計画

多文化共生の地域づくり

１　在住外国人支援事業【9,074千円】

（１）外国籍児童生徒支援事業

外国籍の子どもが大人になった際に一社会人として自立できるためには進路支援が大変重要である。そのため、進学や進路に悩む県内在住の外国籍の子どもたちを、市町村、市町村国際交流協会、ＮＰＯ、ボランティア団体等と連携し、支援する。

・外国籍児童生徒への進路ガイダンス
・外国籍の子どものための進学支援事業助成金　新規

（２）外国人コミュニティ活動サポート事業

外国籍県民の自立と社会参画を促進するためには、外国人コミュニティ及び外国人コミュニティと日本社会を繋ぐＮＰＯ等の育成、また、それらの団体が直面する様々な課題に自らが取り組み、解決する能力の向上が重要である。そのため、人材育成や課題解決の支援のための研修等を実施し、コミュニティ活動や支援活動が円滑に行えるよう支援する。

・外国人コミュニティ活動を支援する人材育成のための研修
・課題解決能力向上のための研修
・外国人コミュニティへの情報提供

２　外国人相談員配置事業【9,879千円】

外国籍県民が日常生活で直面している様々な問題の解決に向けて、日本に長年居住し、日本語及び外国語（ポルトガル語、タガログ語）が堪能な相談員を配置し、相談、助言の機会を提供する。また、外国人のための相談員や通訳員を配置していない県や市町村の行政窓口への派遣、地域に出向いての説明会や相談会の開催、県・市町村等の行政情報の翻訳を行い、多言語による情報提供を行う。

さらに、多様な相談に対応するため、専門家と連携して、「行政書士相談」、「カウンセラー（こころの）相談」等を実施する。

３　日本語指導者育成支援事業【2091千円】

（１）日本語学習支援ボランティア研修事業

日本語学習を支える地域の日本語教室で教えるボランティアの掘り起こし及び育成を図るため、日本語学習支援ボランティアに対しての研修を実施。また、地域の要望に応じて、日本語教室の立ち上げのための研修を実施。

- 対象：日本語学習支援ボランティア、これから実施しようとする者
  日本語教室を立ち上げる市町村、市町村国際交流協会等
- 内容：日本語指導者として必要なスキル、教室運営方法等の研修

（２）日本語教室連絡会議・研修会の開催

県内の日本語教室を活性化し、岐阜県における日本語教育の体制整備を図るため、連絡会議及び研修会を開催する。

- 対象：日本語教室の運営者・活動ボランティア等
- 内容：日本語教室の活動報告及び課題の発表・共有、情報交換、日本語教室の活動ヒントとなる研修

地域の国際化推進のための環境づくり

１　情報サービス事業【6,498 千円】

（１）交流サロン運営事業

日本人県民と外国籍県民の交流、情報提供や相談の場、及び個人や国際関係団体の活動支援の場として交流サロンを設置し、各種サービスの充実を図る。

- 日本語教材や図書資料、国旗、会議室の貸出、メッセージボードの運営
- 国際交流・協力や外国籍県民の日常生活の相談
- 県・市町村の行政情報等の多言語翻訳
- 語学講座、外国文化紹介を行う国際交流サロン、海外体験・留学の情報提供を行うセミナーの開催
- 国際交流員等による国際理解講座への講師派遣

（２）情報提供事業

センターや国際関係団体等の取り組み等、国際交流や多文化共生に関する情報を幅広く県民に提供し、また、在住外国人が母語で生活に役立つ行政関連情報等を多言語で提供するため、刊行物の発行やホームページを通じて発信する。

①　「世界はひとつ」の発行

- 内　　容：国際関係団体の取組み、外国人の生活情報、国際交流イベント情報を紹介
- 発行部数：年３回、各2,500部（ホームページにも掲載）
- 掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語

② 「国際交流の窓」の発行

・内　　容：県、市町村、教育機関及び国際関係団体の連絡先や実施事業の紹介
・発行部数：ホームページの掲載を基本とし、調査協力団体等のみ印刷物を送付

③ ホームページ及びフェイスブックの活用促進

ホームページ及び同時期に開始したフェイスブックを積極的に活用し、当センター及び他団体の取り組み、生活関連情報、イベント情報、県政情報等を多言語で積極的に情報発信する。

・掲載言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語

2　国際交流・協力事業【3,144千円】

（1）ハローギフ・ハローワールド開催事業

国際交流の啓蒙や知識の普及、国際相互理解の推進、一般県民と在住外国人の交流促進のため、本県に活動拠点を置く国際交流・協力団体、外国支援団体等が取り組む国際交流・協力活動を広く県民に紹介し、また、各国文化を様々なパフォーマンス、体験等を通じて紹介し、交流を深める。

（2）国際協力機構（ＪＩＣＡ）協力事業

ＪＩＣＡ（独立行政法人国際協力機構）が県内国際協力の窓口として配置している岐阜デスクの設置・運営を支援する。

（3）岐阜県国際交流団体協議会（ＧＩＡ）協力事業

県内の国際関係団体で構成し、団体間の情報交換、相互の連携、協力の推進を図るために活動している岐阜県国際交流団体協議会の事務局の設置・運営を支援する。

3　外国人留学生奨学金支給事業【3,494千円】

外国人留学生の経済的負担の軽減と学習支援、また、岐阜県の理解促進及び諸外国との友好交流の促進のため、奨学金を支給するとともに、奨学生には、多文化共生・国際交流事業や岐阜県のＰＲ等の取り組みへの参加を促進する。

・対象者：県内の大学・大学院、短期大学等で学ぶ私費留学生５名
・支給額：３６万円（月額３万円、１年間）

ボランティア・民間団体の活動促進

1　ボランティア活動促進事業【8,533千円】

（1）ボランティア登録制度の運営

県民参加による国際交流・多文化共生を推進するため、「語学(通訳・翻訳)」、「日本語学習支援」、「ホームステイ」の３分野におけるボランティアの募集・登録を行い、市町村や国際関係団体からの紹介依頼、当センターの各種事業への参加等による活動機会の提供を行う。

（2）岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業及び医療通訳ボランティア研修

県及び医療機関と３者間で協定を締結し、協定締結医療機関からの医療通訳業務依頼に対し、登録ボランティアの医療通訳業務斡旋を行う「岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業」を実施する。

また、当該事業の医療通訳ボランティアの登録者拡充を目指した登録試験の実施や、一般ボランティアを含む医療通訳技術のスキルアップを目指した研修・講座等を実施する。

（3）災害時語学ボランティア研修　拡充

災害時の語学ボランティアの発掘や育成、また、行政、地域国際交流協会、ボランティア等が連携して対応・体制整備等を検討するため、多言語支援センター設置・運営訓練、避難所巡回訓練、避難所体験ワークショップ等を外国人集住市町村と連携し実施する。

また、東海北陸の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援ネットワーク東海北陸ブロック研究会」の一員として、外国人に対する災害応急対策及び予防対策の支援体制づくりを行う。

２　国際交流・多文化共生推進助成事業【11,507千円】

県民主体の国際交流・協力並びに多文化共生社会づくり事業を促進するため、県内の団体又は個人が実施する多文化共生や国際交流・協力事業等に助成を行う。

・対象者：県内に活動拠点を有し、継続して国際交流・協力及び多文化共生の推進活動を行う団体
・助成率：国際交流・協力事業　対象経費の1/2以内（補助限度額 30万円）
　　多文化共生事業　　対象経費の2/3以内（補助限度額 50万円）

経営基盤の整備

１　賛助会員の募集

当センターが実施する事業の開催時等の機会をとらえ、センター事業をＰＲするとともに、賛助会員の加入募集等を行う。

２　広告掲載の募集

当センターのホームページ及び広報誌「世界はひとつ」への広告掲載について、各種機会をとらえ、ＰＲを行う。

平成２７年度　前年比較予算書

平成２７年４月１日から平成２８年３月３１日まで

（単位：千円）

科　　目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増　減 a－b	備　　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１経常増減の部				
（１）経常収益				
基本財産運用益	**8**	**2**	**6**	
基本財産受取利息	8	2	6	
特定資産運用益	**39**	**35**	**4**	
中国人留学生奨学基金受取利息	1	1	0	
外国人留学生奨学基金受取利息	1	1	0	
在住外国人支援相談員配置事業実施資金受取利息	3	3	0	
国際交流・多文化共生推進事業基金受取利息	34	30	4	
受取会費	**700**	**749**	**△ 49**	
賛助会員受取会費	700	749	△ 49	法人：92口×5千円　個人：80口×3千円
受取補助金等	**46,249**	**45,834**	**415**	
受取県補助金	46,249	45,834	415	
受取助成金	0	0	0	
受取負担金	**410**	**410**	**0**	
受取参加者負担金	210	210	0	
受取国際協力推進事業負担金	150	150	0	
受取岐阜県国際交流団体協議会負担金	50	50	0	
受取寄付金	**1,800**	**1,800**	**0**	
受取寄付金振替額	1,800	1,800	0	外国人留学生奨学基金取崩　△720 中国人留学生奨学特別基金取崩　△1,080
雑収益	**44**	**65**	**△ 21**	
情報機器利益収益	5	5	0	
受取利息	9	30	0	定期預金利息
広告掲載収益	30	30	0	
経常収益　　計	**49,250**	**48,895**	**355**	
（２）経常費用				
事業費	**54,220**	**56,955**	**△ 2,735**	
非常勤専門職報酬	15,107	14,741	366	
役員報酬	3,568	3,348	220	
職員手当	2,517	2,266	251	
法定福利費	5,523	5,341	182	
報償費	1,195	2,464	△ 1,269	
費用弁償	378	525	△ 147	
業務旅費	943	980	△ 37	
消耗品費	1,061	1,512	△ 451	
会議費	34	24	10	
光熱水費	676	646	30	
印刷製本費	1,145	983	162	
修繕料	70	60	10	
通信運搬費	999	1,215	△ 216	
手数料	24	24	0	
保険料	31	84	△ 53	
委託料	2,388	4,296	△ 1,908	
賃借料	3,693	3,906	△ 213	
負担金	5	5	0	
助成金	11,900	11,513	387	
奨学金	1,800	1,800	0	
公課費	3	6	△ 3	
賞与引当金繰入	657	603	54	
減価償却費	503	613	△ 110	

（単位：千円）

科　　目	予算額 a	前年度当初予算額 b	増　減 a－b	備　　考
管理費	**9,656**	**9,731**	**△ 75**	
非常勤専門職報酬	366	349	17	
役員報酬	4,020	4,238	△ 218	
職員手当	764	688	76	
法定福利費	1,107	1,088	19	
費用弁償	185	185	0	
業務旅費	233	205	28	
交際費	20	20	0	
消耗品費	227	240	△ 13	
対外交流費	16	16	0	
会議費	46	49	△ 3	
光熱水費	161	158	3	
印刷製本費	18	20	△ 2	
修繕料	30	19	11	
通信運搬費	173	184	△ 11	
手数料	181	210	△ 29	
保険料	0	0	0	
委託料	80	0	80	
賃借料	930	925	5	
消耗什器備品費	355	437	△ 82	
負担金	291	270	21	
公課費	1	0	1	
賞与引当金繰入	289	274	15	
減価償却費	163	156	7	
経常費用　　計	**63,876**	**66,686**	**△ 2,810**	
当期経常増減額	**△ 14,626**	**△ 17,791**	**3,165**	
２経常外増減の部				
（１）経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
（２）経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	**0**	**0**	**0**	
他会計振替額	**0**	**0**	**0**	
当期一般正味財産増減額	**△ 14,626**	**△ 17,791**	**3,165**	
一般正味財産期首残高	**89,885**	**100,712**	**△ 10,827**	
一般正味財産期末残高	**75,259**	**82,921**	**△ 7,662**	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
一般正味財産への振替額	△ 1,800	△ 1,800	0	外国人留学生奨学基金取崩　△720 中国人留学生奨学特別基金取崩　△1,080
当期指定正味財産増減額	**△ 1,800**	**△ 1,800**	**0**	
指定正味財産期首残高	**9,900**	**11,700**	**△ 1,800**	
指定正味財産期末残高	**8,100**	**9,900**	**△ 1,800**	
Ⅲ 正味財産期末残高	**83,359**	**92,821**	**△ 9,462**	

4 資　　料

1　図書･資料整備状況　（平成27年4月1日現在）

図　　書	冊 数
和書・洋書	７４

(2)新聞･雑誌

＜新聞＞

新　聞　名	言　語
The Japan Times	英　語

＜週刊・隔週誌＞

雑　誌　名	言　語
SUPER INTERESSANTE	ポルトガル語

＜月刊誌＞

雑　　誌　　名	言　語	雑　　誌　　名	言　語
ひらがなタイムズ	日・英語	国際人流	日本語
ENGLISH JOURNAL	日・英語	聴く中国語	日･中国語

(3)刊行資料等

内　　容
医療通訳教本（中、ポルトガル、タガログ、日本語併記、岐阜県国際交流センター、2011）
ポケット版防災ガイド（英、中、ポルトガル、日本語併記、2010）
パンフレット「会社が伸びる外国人雇用」（日本語、2010）
地震防災ガイドブック（英、中、ポルトガル語）（岐阜県、2006）
岐阜県生活ガイドブック（英・中・ポルトガル語）（岐阜県国際交流センター、2008）
岐阜はやわかりブックINSTANT GIFU（英語）（岐阜県国際交流センター、2002）

(4)辞書･辞典

言　　語	名　　称
日本語	日本語大辞典（講談社）　　広辞苑（岩波書店） 対訳日本辞典（講談社ｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ）カタカナ外来語／略語辞典（自由国民社）

言　語	名　　称
英語	現代英英辞典（開拓社）　新漢英字典（研究社） 新英和大辞典（研究社）　新和英大辞典（研究社） ワーズワード（同朋舎出版）　日本医学会医学用語事典（南山堂） ランダムハウス英和大辞典（小学館）　コンサイス外国山名辞典（三省堂） コンサイス外国人名事典（三省堂）　医学英和大辞典（南山堂） 日本紹介英語会話表現辞典(旺文社) 英和ビジュアルディクショナリー分解博物館（同朋舎出版） 英語日本図解字典（小学館）
中国語	中日大辞典（大修館書店）　日中辞典（小学館）
韓国語	日韓辞典（民衆書店）　韓日辞典（三修社）
フランス語	スタンダード和佛辞典（大修館書店）仏和大辞典（小学館）
ポルトガル語	Dicionário Conciso(Da Língua Portuguesa) 現代ポルトガル語辞典（白水社）　現代日葡辞典（小学館）ほか
スペイン語	西和中辞典（小学館）　和西辞典（白水社）
オランダ語	オランダ語辞典（講談社）
イタリア語	伊和中辞典（小学館）　イタリア料理用語辞典（白水社） 和伊中辞典（小学館）
ロシア語	コンサイス露和辞典（三省堂）　コンサイス和露辞典（三省堂） 露和辞典（研究社）
ペルシア語	日本語ペルシア語辞典（大学書林）
ハンガリー語	ハンガリー語小辞典（泰流社）
ミャンマー語	ビルマ語辞典（日本ビルマ文化協会）
マレー語	日本語－マレー語－英語辞典（国際語学社）
ラテン語	Latin Dictionary（ROUTLEDGE）
ドイツ語	現代和独辞典（三修社）　現代独和辞典（三修社）　独和大辞典（小学館）

【国際交流サロン】

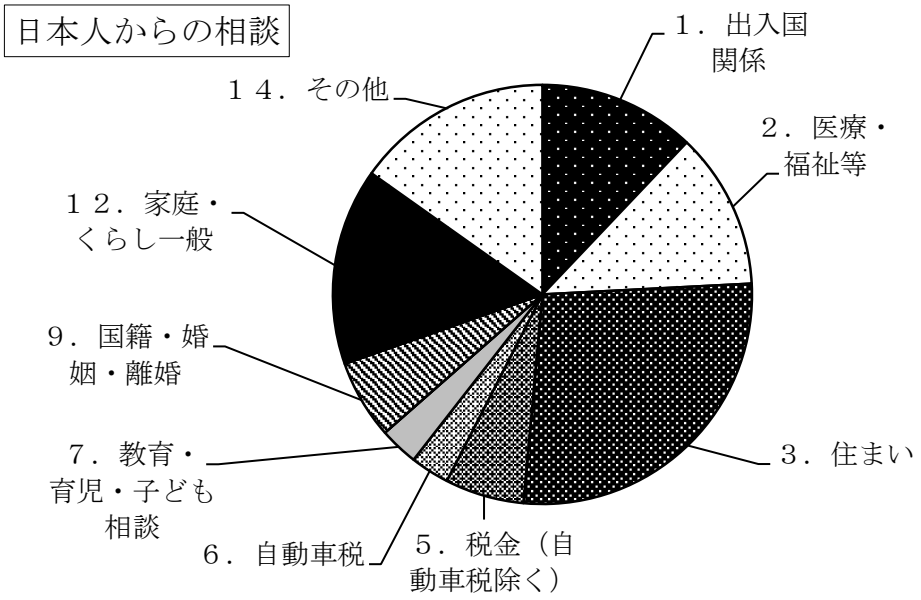
【図書資料コーナー】

2 交流サロン利用状況

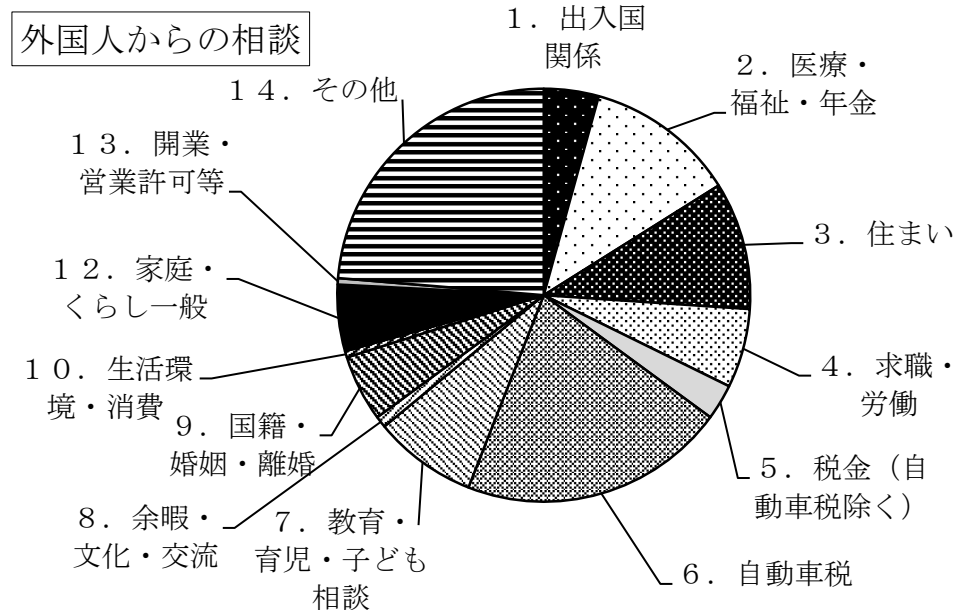
（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）

項目		日本人		外国人	
		件数（件）	割合（%）	件数（件）	割合（%）
相談		33	100.0	211	100.0
内訳	1. 出入国関係	4	12.1	9	4.3
	2. 医療・福祉・年金	4	12.1	25	11.8
	3. 住まい	9	27.3	21	10.0
	4. 求職・労働	0	0.0	13	6.2
	5. 税金（自動車税除く）	2	6.1	6	2.8
	6. 自動車税	1	3.0	44	20.9
	7. 教育・育児・子ども相談	1	3.0	17	8.1
	8. 余暇・文化・交流	0	0.0	2	0.9
	9. 国籍・婚姻・離婚	2	6.1	11	5.2
	10. 生活環境・消費	0	0.0	1	0.5
	11. 事件・事故	0	0.0	0	0.0
	12. 家庭・くらし一般	5	15.2	11	5.2
	13. 開業・営業許可等	0	0.0	1	0.5
	14. その他	5	15.2	50	23.7
利用		2,716		584	
相談・利用合計		2,749		795	

日本人からの相談

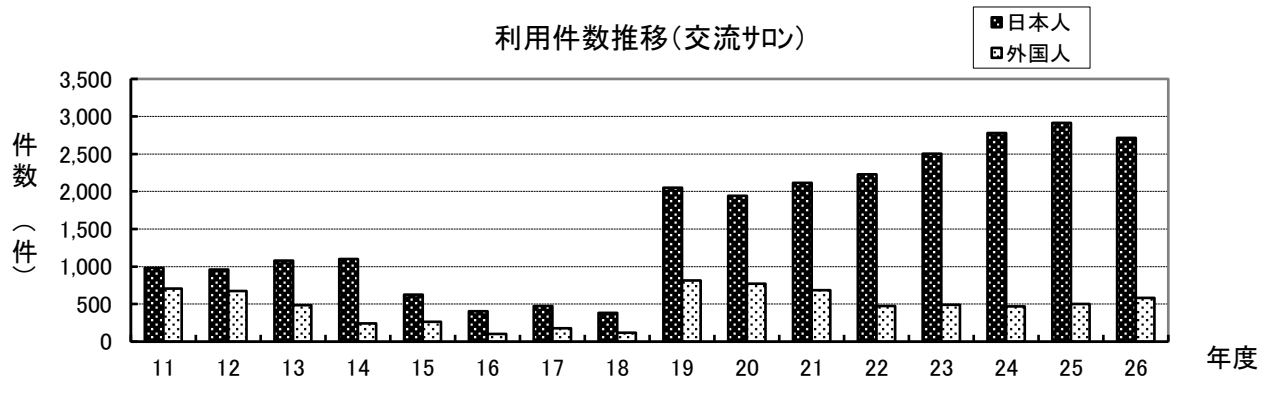


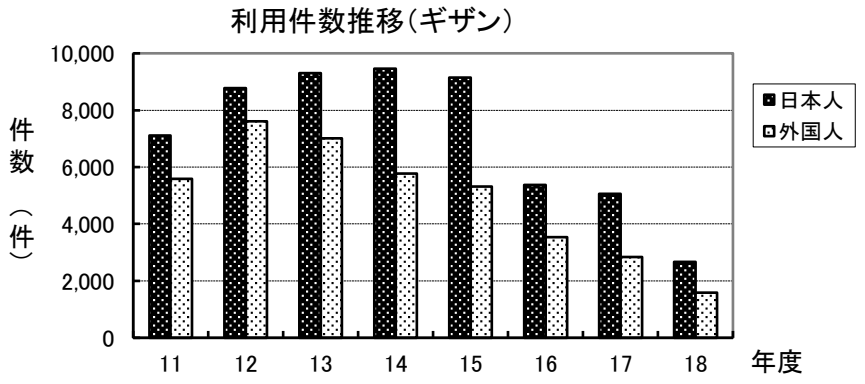
外国人からの相談

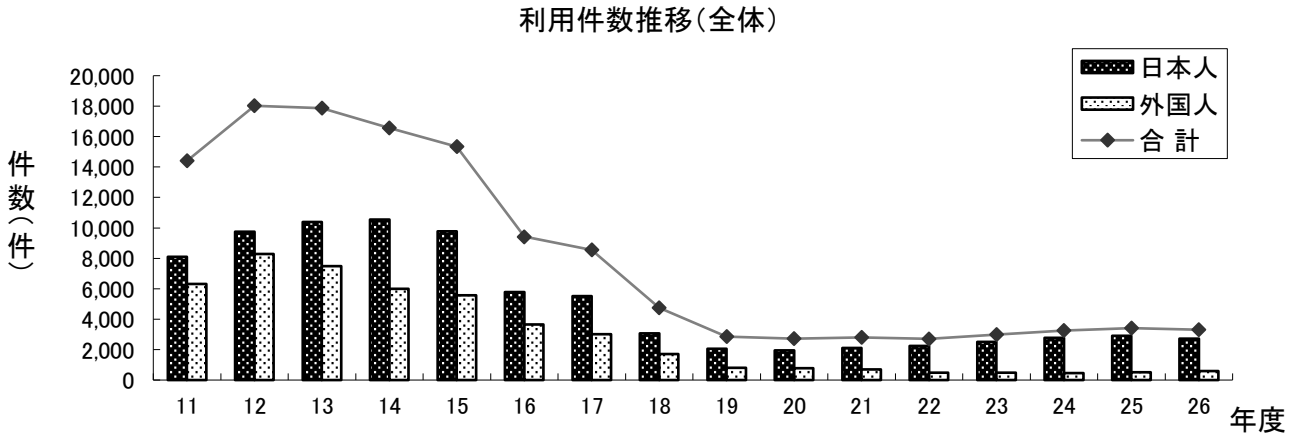


（2） 交流サロン相談・利用件数推移

年 度		11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
交流サロン	日本人	982	962	1,078	1,099	626	404	473	384	2,049	1,945	2,118	2,229	2,506	2,779	2,914	2,716
	外国人	709	676	486	241	263	104	181	121	815	770	688	478	492	470	503	584
ｷﾞｻﾞﾝ インターナショナル センター(H10-H18)	日本人	7,118	8,777	9,302	9,459	9,140	5,369	5,054	2,670								
	外国人	5,594	7,607	7,009	5,766	5,310	3,538	2,845	1,580								
合計	日本人	8,100	9,739	10,380	10,558	9,766	5,773	5,527	3,054	2,049	1,945	2,118	2,229	2,506	2,779	2,914	2,716
	外国人	6,303	8,283	7,495	6,007	5,573	3,642	3,026	1,701	815	770	688	478	492	470	503	584
合 計		14,403	18,022	17,875	16,565	15,339	9,415	8,553	4,755	2,864	2,715	2,806	2,707	2,998	3,249	3,417	3,300







3　新聞記事

（1）　情報サービス事業

4カ国出身者に学ぶ

羽島北高で国際交流授業

森下アンダーソン実砂雄さん㊥からブラジル事情を聞く生徒たち＝岐阜市柳津町北塚の羽島北高校で

海外の文化に触れる授業が三十日、岐阜市柳津町北塚の羽島北高校であり、生徒はサッカーワールドカップで盛り上がるブラジルのスポーツや文化などを学んだ。

授業は、同校が本年度始めた「国際交流・国際理解プログラム」の一つ。一年生三百十五人が四グループに分かれて、県国際交流センターなどに所属するブラジル、オーストラリア、中国、フランス出身者から各国事情を聴いた。

ブラジルを学ぶグループは「ボンジーア」（おはよう）などポルトガル語の発音を練習。サンパウロ出身の森下アンダーソン実砂雄さん㈢は「ブラジルはサッカーだけではありません」と述べ、音楽に乗って踊るように技を繰り出す伝統武術「カポエイラ」などを紹介した。

参加した国島聖大君㈡は「ワールドカップが開かれているので、ブラジルの話を聞けて良かった」と話していた。（磯部旭弘）

中日新聞　Ｈ２６．７．１　朝刊
（中日新聞社提供）

（２）国際交流・協力事業

国際交流、文化に触れる

岐阜市でイベント 歌や民族舞踊披露

県内30団体、ブース出展

県内の国際交流団体が各国の文化を紹介するイベント「ハローギフ・ハローワールド２０１４」が20日、岐阜市日ノ出町のシネックスなどで開かれた。日本とフランスの文化協力90周年、日本とジャマイカの国交樹立50周年を記念する歌や民族舞踊の披露、民芸品の販売などでにぎわった。（生駒美江）

浴衣姿でフランス国歌を歌うフランス人学生ら＝岐阜市日ノ出町、劇場通りわくわく広場

県国際交流団体協議会が毎年開催しており、今回で26回目。

開会式にはシャルランリ・ブロソー在京都フランス総領事が出席。「日仏の文化交流の端緒を開いた日仏会館が東京に創設されて今年で90年。多彩なイベントを通じて、文化が両国の関係に果たす重要な役割を知ってほしい」とあいさつした。

会場には、同協議会に加盟する39団体のうち30団体がブースを出展。各国の民芸品や特産物、料理、本の紹介や販売、サリーやチマチョゴリなど民族衣装の試着があった。

ステージでは、シャンソンやベリーダンスなど異国情緒あふれる歌や踊りのパフォーマンスで、多くの来場者を楽しませた。

また同協議会長の杉山幹夫岐阜新聞名誉会長は開会式で、岐阜新聞・岐阜放送などが２０１２年に開催したシャガールの特別展に在日フランス大使館が後援したことに感謝を込め、ブロソー総領事に陶芸家安藤日出武さん＝多治見市＝の「志野香炉」を贈った。

シャガール展の感謝の気持ちが込められた「志野香炉」を受け取るシャルランリ・ブロソー総領事（右）＝同（撮影・野尻信一郎）

岐阜新聞　Ｈ２６．７．２１　朝刊
（岐阜新聞社提供）

（3） ボランティア支援事業

医療機関に通訳派遣

県の事業が本格始動

県は今月から、県内10の医療機関に、依頼に応じて医療通訳ボランティアを派遣するあっせん事業を本格稼働した。日本語が不自由な外国人が安心して医療機関を受診できるようにする。

県内には約4万3千人の外国人が居住。日本語が話せない人も多く、医療機関でのコミュニケーションが課題になっているため、県が2012年度から実証実験を行ってきた。

派遣するボランティアは27人（ポルトガル語10人、中国語12人、タガログ語5人）。全員が県国際交流センターが実施した登録試験に合格した。通訳時間は1回当たり約2時間で、謝礼は3千円。患者、または医療機関が負担する。

県環境生活政策課は「今後、利用できる医療機関やボランティアを増やしていきたい」としている。（馬田泰州）

利用できる医療機関は次の通り。

岐阜大医学部付属病院、県総合医療センター、岐阜市民病院、水谷医院（以上岐阜市）、中濃厚生病院（関市）、木沢記念病院（美濃加茂市）、東海中央病院（各務原市）、松波総合病院（羽島郡笠松町）、まつなみ健康増進クリニック（同）、まつばら眼科（揖斐郡池田町）

岐阜新聞　Ｈ２６．８．５　朝刊
（岐阜新聞社提供）

医療通訳、守秘義務に注意

岐阜市でボランティア研修会

日本語が不自由な外国人が安心して医療機関を受診できるようにと、医療通訳ボランティアを養成する研修会が岐阜市柳戸の岐阜大で開かれ、参加者が守秘義務など医療通訳をする時の注意点を学んだ。

県が今年8月に始めた医療通訳ボランティア斡旋事業の一環で、県国際交流センターが主催。同事業に登録する医療通訳経験者を含め、ポルトガル語、中国語、タガログ語に堪能な県内の会社員、主婦、学生ら20～60代の男女計39人が参加した。

研修は2日間にわたって行われ、初日は病院関係者が講義。受診の流れや守秘義務などの注意点、医療用語の知識や通訳技術が向上する勉強のこつなどを教わった。ブラジル人と中国人の医療通訳ボランティア経験者が自分の体験を紹介した。

2日目は、同大の医学部生が医師役となって受診を行い、模擬通訳に取り組んだ。（生駒美江）

医療通訳の注意や心構えなどを学ぶ参加者ら＝岐阜市柳戸、岐阜大

岐阜新聞　Ｈ２６．１２．９　朝刊
（岐阜新聞社提供）

掲載記事は各新聞社の許諾を得て転載しています。

４　賛助会員

（敬称略）

団体（50団体）

朝日大学
アルク Kiddy CAT英語教室 羽島 マザーグース教室
いちき皮膚科
揖斐川工業(株)
(公財)AFS日本協会 岐阜支部
NPO法人 可児市国際交流協会
(公財)オイスカ岐阜県支部
(株)大垣共立銀行
大垣市
海津市
学校法人篠田学園かぐや第一幼稚園
(株)岐阜グランドホテル
(一財)岐阜県環境管理技術センター
岐阜車体工業(株)
岐阜県チェコ友好協会
岐阜県土地改良事業団体連合会
岐阜県農業協同組合中央会
岐阜県ユネスコ協会
岐阜さくらの会
岐阜聖徳学園大学
岐阜女子大学
岐阜信用金庫
岐阜日独協会
岐阜東高等学校
岐阜ロータリークラブ
(株)共立総合研究所
郡上八幡国際友好協会
県立岐阜北高等学校
神戸町
在日本大韓民国民団岐阜県地方本部
(株)十六銀行
白川町
白川村
関ヶ原町
関市国際交流協会
全国共済農業協同組合連合会岐阜県本部
高山西高等学校
多治見市
垂井町
東海学院大学
富田高等学校
中津川市
(株)ニチイ学館　岐阜支店
日本耐酸壜工業(株)
日本プロパワー㈱
羽島市
ピノキオ商事株式会社
美濃加茂市
八百津町
連合岐阜

個人（93人）

鈴木　禮子
松井　澄子
松井　直樹
三宅　万里子
高木　敏治
森山　章
葛西　利充
金原　利幸
伊藤　恒夫
吉田　英一
若山　直美
遠藤　洋平
青谷　美恵子
大橋　和子
篠田　昭勝
山縣　知津子
熊田　行雄
辻　明美
狭間　美絵
渡辺　義明
浅野　勇
近藤　良子
今井　信行
後藤　喜代子
江尻　釣
高沢　希
永田　雅子
西川　夏織
西部　　理恵
徳丸　順教
島塚　　眞澄
岩田　みどり
原　哲治
服部　さかえ
笹島　シゲオ
谷本　繁彦
加納　純二
高橋　なおみ
山口　友紀恵
舩山　和子
今泉　啓子
所　政子
河野　節子
三宅　正哉
岡田　恵美子
角原　伊公未
加藤　雅治
永田　得郎
服部　和夫
村上　千絵利
中島　容子
笠原　朋
池田　あゆみ
後藤　恵子
清水　五輪
佐野　泰教
安井　博子
細川　香織
横井　実香
林　千鶴美
大野　真記子
後藤　理紗子
坂巻　明日香
小川　雅巳
渡辺　浩司
小牧　和子
中林　義一
水野　奈央
森　友美
森　良一
箕浦　芽衣
堀江　泰弘
箕浦　有見子
辛　　紹熙
後藤　久美
大森　隆太郎
安池　知子
宮木　浩司
中尾　ひとみ
浅川　大輝
渡辺　玲
関谷　啓子
渋谷　玲二
高見　昌伸
鷲見　多津子
野田　和男
小林　誠一
伊藤　純規
野口　武彦
栗田　庸市
篠田　薫
福井　玲子
神徳　洋子

平成27年3月末現在

公益財団法人　岐阜県国際交流センター
開館時間　日曜日～金曜日　９：３０～１８：００（電話受付は９：００から開始）
住　　所　〒500-8875　岐阜県岐阜市柳ケ瀬通 1-12
岐阜中日ビル２Ｆ
ＴＥＬ　058-214-7700
ＦＡＸ　058-263-8067
E-mail　gic@gic.or.jp
URL　http://www.gic.or.jp

年報　２０１４年度
発行年月日　平成２７年７月１０日
発行・編集　公益財団法人　岐阜県国際交流センター

©岐阜県　清流の国ぎふ･ミナモ　＃０１９５